

## 放射線源の安全とセキュリティに関する検討ワーキンググループの検討について

平成 17 年 11 月 29 日  
セキュリティWG

## 1. はじめに

放射線源の安全とセキュリティに関する検討ワーキンググループ(以下、「本ワーキンググループ」という。)は、第 19 回放射線規制検討会において設置が承認された後、第 1 回ワーキンググループを開催し、放射線源の安全とセキュリティに関する背景及び検討経緯及び、本ワーキンググループにおける課題について検討した。

## 2. 検討状況等

平成 17 年 10 月 17、18 日 韓国の線源登録システム及び放射線セキュリティに関する調査  
10 月 31 日 第 1 回セキュリティ WG 開催  
11 月 24 日 線源交換調査(アフターローディング、非破壊検査装置)

## 3. 主な検討内容

本ワーキンググループにおける検討課題として、放射線源のセキュリティ対策にかかるガイドラインの作成、適切な線源管理と線源登録、身元不明線源への取り組みについて、各々の課題についての論点を整理し、必要に応じ、様々な分野の専門家から意見を聞くなどの手法により、とりまとめていくことが確認された。

主な論点は以下の通りとし、まず初めに、 から検討を始めることとした。

## ガイドラインの作成

- [何から守るのか] - 対象とする脅威について
- [何を守るのか] - 対象とするカテゴリ分類について
- [どのように守るのか] - セキュリティ対策全体スキーム
  - 事業者に求められるセキュリティ対策について
  - セキュリティ要件について
  - セキュリティ計画について

## 適切な線源管理と線源登録

- [状況把握] - 事業者における線源管理について
  - 文科省における線源管理について
- [線源管理の方法] - 求められる線源管理について
  - 線源登録対象カテゴリについて
  - 線源管理スキームについて

なお、各々の論点を整理するに当たっては、これまでに検討されてきた IAEA の報告書や他分野におけるセキュリティに対する考慮すべき事項を踏まえることが必要であり、適宜、事業者から実態を把握するためのヒアリング等も実施し、スムーズな検討を進めるための準備等を予め事務局において実施し、それらの結果を本ワーキンググループに報告しつつ、論点整理を行っていくこととした。

また、各委員のセキュリティに関する知識を共通化するために佐々木委員(セコム株)より「セキュリティ概論」として - セキュリティの考え方、 - 施設別のセキュリティ対策、 - 放射線取扱施設におけるセキュリティ対策 について発表頂いた。

#### 4. 今後の予定

第2回セキュリティWGを12月21日(予定)に開催し、韓国、仏国の線源登録システム及び放射線セキュリティに関する調査結果、線源交換調査結果等について聴取するほか、第1回WGで明らかになった主な論点について検討を進めていくことを予定している。

#### 【参考】

- \*小佐古 敏荘 東京大学大学院工学系研究科原子力専攻 教授
- \*山口 一郎 国立保健医療科学院生活環境部 主任研究官
- \*米原 英典 放射線医学総合研究所放射線安全研究センター  
ラドン研究グループ 第2チームリーダー
- \*山本 英明 (独)日本原子力研究開発機構 東海研究開発センター 原子力科学研究所  
放射線管理部 放射線管理第1課長
- 金重 凱之 (株)国際危機管理機構 代表取締役
- 釜田 敏光 ポニー工業(株) 営業本部営業開発部 部長
- 佐々木 博和 セコム(株)常駐業務部 部長
- 二ッ川 章二 (社)日本アイソトープ協会 アイソトープ部 部長
- 本田 浩 九州大学大学院医学研究院 教授
- 渡辺 忍 (株)日本設計 環境・設備設計群 グループ長

\*放射線安全規制検討会の委員、主査、主査代理